

意見・質問	回答等
<p>1. 令和6年度フロンティア漁場整備実施検討業務</p> <p>本検討業務は何年度からどれくらいの期間をかけて行うものか。</p> <p>入札説明書を入手したが入札を見送った業者に対して、入札を見送った理由についてヒアリングを行ったとの説明があったが、何名の者が入札説明書を入手したのか。</p> <p>本件検討業務は既存のデータを整理して計算、さらにはシミュレーションをして報告書をまとめる業務であると理解しているが、一者応札になった一つの原因として、本件検討業務を実施できる者が少ないことを挙げていたが、シミュレーション等が難しいということか。</p> <p>本件業務の契約者を見ると各種団体やコンサルタント会社が名を連ねているが、このようなジョインベンチャー(JV)との契約はよくあるのか。</p> <p>2. 令和6年度漁船員に必要な漁船特有の知識に関する国際認識調査委託事業</p> <p>本件は、2回目の入札で落札されたという事だが1回目はいつだったのか。</p> <p>本件委託業務内容が専門的だったことも1者応札の原因ではないか、という説明があったが、受注者である大日本水産会の専門性を担保できる理由を説明いただきたい。</p> <p>事業担当者が予定価格を定め、それに対して入札があって契約金額が決まると理解しているが、この予定価格はどのような考え方で定めたのか。</p> <p>本件委託業務は落札率が99.0%で、極めて予定価格に近いが、仕様書の内容から作業量、業務量を大日本水産会が検討した結果であるということか。</p>	<p>単年度である。フロンティア漁場整備事業は、事業評価(今回は事前評価)を行う必要がある。このため、事業評価の1年前に、同評価に必要な費用対効果分析等を本件検討業務により行うものである。</p> <p>〇名の者である。 (「〇」は非公表とします。)</p> <p>フロンティア漁場整備事業では、海底にマウンド礁を作り、海底から海面に向けた上昇流を起こし、その上昇流によって海底からの栄養分を有光層へと供給する。この作用によってどれくらい植物プランクトンや動物プランクトンが増え、さらにはどれくらい魚が増えるのかという計算をバーチャルで行うが、その計算などについてのノウハウ等を持っているところが少ないということ。</p> <p>今回は専門分野が多岐に渡っていたため、ジョイントベンチャー形式となったということ。</p> <p>1回目の入札公告は、令和6年10月15日から10月30日。入札公告期間が短いと思っていたため、なるべく早めに周知をしたいということで、その前に資料招請を9月18日から9月30日まで行った。よって、資料招請、1回目の入札公告、2回目の入札公告で、計3回入札に関する情報を出していた。</p> <p>大日本水産会は、これまで外国人労働者の関係で講習を行ったり、正に本件委託業務にも関連するSTCW-F条約(千九百九十五年の漁船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約)を定めている大元の機関であるIMO(国際海事機関)の会議にも出席していたという経験もあるため、専門性がある評価した。</p> <p>予算要求の業務で使用する単価をベースにして、実際に想定される業務内容を当てはめて計算したもの。</p> <p>そのとおりである。役所の予算は中途半端な数字になりにくいので、当たりを付けられ易いという、うがった見方もしているが、もちろん事業に係る経費の積算があるため、根拠があって出されている数字である。</p>

3. 船舶用電光式情報表示装置の購入

一者応札の原因改善のためのアンケート調査の結果として、電光式情報表示装置の取り外しの可否という条件を満たせない業者があったということだが、取り外しの可否は取締船に付ける電光式情報表示装置にとってどれぐらい重要な条件なのか。

取締船(※用船)、つまり民間企業に電光式情報表示装置を貸すという形となるため、使用しない時は取り外して保管できる方がスムーズに備品管理ができるという考えからである。

※取締船には、「官船」と「用船」があり、官船は国、用船は民間企業によって運営されているもの。

4. 令和6年度北海道赤潮対策緊急支援事業のうち漁場環境改善緊急対策事業

予定価格と契約金額に近いが、その原因として何か思い当たるようなことはあるか。

令和3年度の補正予算から毎年公募はしているが、事業内容も継続したものであるため、大体の予算感はつかまれていると思う。

経験としてやはり3年、4年と事業が継続されると予定価格と契約金額が近づいていく傾向にあるのか。

大体予定価格の9割くらいになるかと思う。

本件は赤潮に対する事業なので、同様の事業が緊急的に実施される可能性が高いと思うが、今回は北海道の赤潮の調査なので北海道の研究機関が契約相手になっているが、地理的な条件が優位な機関が事業を実施する方が良いということはあるのか。

実際に実施する内容は、定期的に北海道の海面で採水をしたり、採水できる機器を持っていたり、そのような条件が必要になるため、どうしても設備や立地を持った機関が事業実施者の候補に上がってくるかと思う。

5. 船内LANサーバー及び端末機更新作業

船内のシステムの更新作業となると参入障壁が出てしまうということが良く分かった。今回受注した(株)エクサは、このシステムを元々お持ちだったのか。

代船建造する際にパッケージとしてLANシステムを導入することが仕様書に記載されている。そのため代船建造の受注者が、請け負った契約額の範囲内で仕様に基づいたLANシステムを導入することになる。その際(株)エクサがLANシステムの導入を請け負った。

仕様書は複数社が応募できる仕様とはなっていたが、今回のような一部換装などの場合は、当初LANシステムを導入した者が有利になるのではと思っている。

最初にLANシステムを導入した時に代替性が利くような導入の仕方しておくこと次の更新の時に多くの企業の参入を見込める様になるが、最初にある程度概括的な発注の仕方をしていると、どうしても更新する時には、最初に導入した時のことを分かっている企業でないと参入しにくいということになる。御検討いただければと思う。

最初にLANシステムを導入する際には、詳細な仕様を示したうえで、上記のとおり、代船建造の受注者が請け負った契約額の範囲内で導入しているが、ご指摘を踏まえ代替性が利くような仕様書の記載方法が可能か検討したい。

6. 令和6年度大阪・関西万博に係る定置網漁業等の理解増進のための情報発信促進緊急委託事業

	<p>広告企業も沢山ある中、また、水産のことに特に詳しい企業も少ない中で、なぜこの1者しか入札しなかったのかという素朴な疑問がある。この点について、分析しているか。</p> <p>水産庁には、大阪・関西万博に関連する事業は複数あると思うが、説明会とか公告の際には、それぞれ個別に行っていくのか、同じ万博関連ということで連携していなかったのか。</p> <p>7. 漁業取締船1隻(白鷺代船)</p> <p>本件のような随意契約の場合、どのようなやりとりを経て、予定価格以内の契約金額に落ち着いたのか。</p>	<p>説明会には入札した1者以外にも広告関係の企業が来ていたが、当方から技術的な知見などについて説明をした結果として、なかなか自社では難しいという判断をされたものと思っている。ほかにも複数の企業が注目され、資料請求はあったが、展示内容が特殊であったため、手を引かれたものと思う。</p> <p>農林水産省として予算に関するPR版(注: 予算事業の概要説明資料)には、水産庁の関連事業だけではなく、農林水産省のほかの部局の予算も含めて公表している。</p> <p>一方で、事業として見たときには、単体の事業として実施しているので、単品で募集をした。</p> <p>予定価格を事前に定め、3回入札をかけたが、予定価格以下の入札がなく不落となり、その後は不落随契に移行した。見積もり合わせを繰り返した結果、6回目で予定価格以内の見積書の提示に至った。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p> <p>〔これらに対し部局長が講じた措置〕</p>	<p>特になし</p>	
<p>事務局：水産庁漁政部漁政課 政策評価班</p>		